

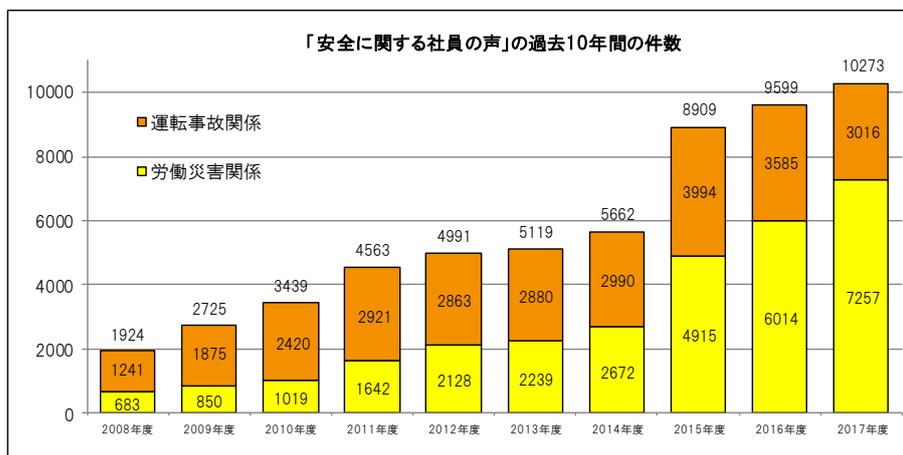
|       |   |
|-------|---|
| 業 種   | 鉄道・軌道   |
| 取組分野  | (7) 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用  |
| テ ー マ | 「安全に関する社員の声」の継続的实施による安全風土の形成  |
| 取組の狙い | 安全に関する「意見・気づき」や「ヒヤリ・ハット体験」を「安全に関する社員の声」システムに社員が登録・共有し、事故等を未然に防止する取組を進めることで、社員一人ひとりが高い安全意識を持ち、自由に意見を交換し合える風通しの良い組織を構築するなど、安全風土の形成が図られることを目指している。   |
| 具体的内容 | <p><b>1. 概要</b></p> <p>九州旅客鉄道株式会社は、平成 17 年 9 月より、社内ネットワークを活用した「安全に関する社員の声(以下「声」という。)」システムを構築、運用している。</p> <p>このシステムは、安全に関する「意見・気づき」や「ヒヤリ・ハット体験」について、現場の社員が直接又は報告を受けた箇所長等がシステムに入力（登録）し登録された「声」を事務局である安全創造部が確認し、対策の必要なものについては、事務局から関係箇所（本社内各部・支社）に調査・対策の検討を依頼し、安全推進小委員会や経営会議で会社幹部へ報告、審議を経て方針を決定、最終回答をシステムに登録し、現場にフィードバックするまでを 2 週間以内に行う仕組みとなっている。</p> <div data-bbox="427 1041 1391 1572" data-label="Diagram"> <p>● 「安全に関する社員の声」のフロー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全推進小委員会 (1回/週)</li> <li>● 経営会議 (1回/週)</li> </ul> <p>社員<br/>システム入力又は報告<br/>● 乗務日誌<br/>● 備忘表<br/>● SUカード<br/>● ヒヤリハット体験<br/>● 安全に関する意見・気づき</p> <p>箇所長・助役など<br/>現場内での対策などの検討</p> <p>社内ネットワークシステム<br/>「安全に関する社員の声」</p> <p>安全創造部 (事務局)<br/>調査・対策の検討<br/>始末結果</p> <p>関係箇所 (本社・支社・事業部)</p> <p>会社幹部などへの報告および審議</p> <p>2週間以内</p> <p>回答を確認</p> <p>回答・周知・指導</p> <p>全社員が閲覧可能</p> <p>回答</p> </div> <p><b>2. 活用状況</b></p> <p>寄せられた「声」は全社員がシステムで閲覧可能であり、対策の実施や注意喚起事例として活用されるなど、事故や危険の芽の未然防止に資するほか、社員の声を反映した事業運営を進めることで、現場第一線の社員の安全マネジメントへの参加を推進するなど、安全風土の形成が図られている。</p> <p>また、この「声」を基盤として、毎年度のスローガンを掲げた「安全創造運動」を平成 18 年度から継続的に行うとともに、事故等の未然防止や安全輸送の確保に大きく貢献した「声」に対する表彰制度〔安全創造大賞 (H26.9～)、安全推進特別賞 (H20.10～)、安全推進賞 (H17.12～) 等〕</p> |

を創設するなど、社員の安全意識の向上と参加意欲を高めることによって、「声」の増加にも寄与している。

取組の効果

3. 定量的評価（2017年度の実績、過去との比較）

「声」の件数は、10,273件（うち運転事故関係で3,016件、労働災害関係で7,257件）であり、2008年度の1,924件（うち運転事故関係1,241件、労働災害683件）と比較すると、約5.3倍（運転事故関係は2.4倍、労働災害関係で10.6倍）に増加している。



4. 2017年度における対策への反映状況

「声」に寄せられた「意見・気付き」や「ヒヤリ・ハット体験」のうち、対策が必要なものは735件あり、これらに対して対策の実施又は対策実施の方針が決定されている。さらに、対策の実施状況について継続的にトレースを行い、事故や危険の芽を確実に取り除いている。

事例

● 声の内容  
踏切の拡幅工事に伴い、場内信号機が移設されました。当社の場内信号機と他会社の場内信号機が近接しており、始めは左側に見える当社の場内信号機が、近づいていくと右側に見えるため、機外停車する際に信号機を誤認する危険がある。

● 対策  
他会社の信号機に遮蔽物を取り付け、誤認防止対策を行いました。

5. 定性的評価（安全風土の形成）

社員間の情報共有と双方向のコミュニケーションが促進されるとともに、社員の意見が経営トップまでの確に上がっていることが確認されること、ならびに2週間以内に「声」の内容と対策を全社員に開示することで、社員の安全意識の向上やモチベーションの維持・向上にも繋がっている。

事業者名

九州旅客鉄道(株)  
安全創造部安全マネジメント  
(連絡先：092-474-2385)

